

お客様各位

キヤノンITソリューションズ株式会社

# DEX Business Server

## バージョン 2.01リビジョン01 変更内容について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。  
さて、当社製品「DEX Business Server」(Ver.1.05-04→Ver.2.01-01)において、  
下記のような改修を行いましたのでお知らせ致します。

敬具

### 概要

#### [強化項目]

以下の機能を強化しました。

#### [システム全般]

◎以下の OS に対応しました。

<サーバ>

- ・ Windows Server 2003 (SP2 以上) ※1※2
- ・ Windows Server 2003 R2 ※1

<クライアント>

- ・ Windows XP Professional (SP2 以上) ※1※2

※1 : 32 ビット版のみの対応です。

※2 : SP 条件の変更のみです。

◎以下の OS が動作対象から除かれました。

<サーバ>

- ・ Windows 2000 Server (SP2 以上)

<クライアント>

- ・ Windows 2000 Professional

◎クライアントの動作環境が以下のとおり変更になりました。

<メモリ>

512MB 以上

<ハードディスク>

20MB 以上

◎以下のブラウザに対応しました。

- ・ Internet Explorer 8

◎電子メールの MIC (Message Integrity Check) 機能を非対応としました。

これにより、「電子的個別症例安全性報告」システムとしてご利用いただけなくなります。

「電子的個別症例安全性報告」システムとしてご利用いただく場合は、『DEX Business Server Medical Gateway』をご購入ください。

#### [運用管理機能関連]

◎電子メールの MIC (Message Integrity Check) 機能の非対応にともない、電子メール用のファイル定義から以下の設定を削除しました。

「メッセージの完全性のチェックを行う」

「MIC アルゴリズム」

## [改修項目]

以下の問題点を修正しました。

### [ファイル転送機能関連]

- ・ファイル転送中に、エラー ("0x\*0041300") が発生することがある。
- ・全銀 HTTP 手順で、「正常終了時に実行するコマンド」として UNCATALOG コマンドが実行される際に、エラー ("0x\*0040517") が発生することがある。
- ・ロードバランサが設置された環境で、サーバが 1 次局となって全銀 HTTP 手順の送信を行うと、シーケンス番号が重複することがある。
- ・電子メールで、S/MIME を使用して受信するとメモリリークが発生する。
- ・電子メールで、MDN を使用するとメモリリークが発生する。
- ・「ピリオドのみ」、または「1024 バイト + ピリオド」の行を含むメールを受信できない。

### [スケジュール管理機能関連]

- ・シェル実行以外の非同期呼び出しのコマンドを指定したスケジュールを登録していると、「DEX Business Server Service」が停止できなくなることがある。

### [運用管理機能関連]

- ・定義の一覧画面が複数ページにわたる場合、1 ページ目以外にある定義の変更画面を開いて「登録」や「BACK」を行うと、一覧画面の元のページではなく 1 ページ目に戻る。
- ・ファイル一覧画面が複数ページにわたる場合、1 ページ目以外を表示して「更新」を行うと、一覧画面の現在のページではなく 1 ページ目が表示される。
- ・フォルダ定義の変更アイコンを連続してクリックすると、フォルダ定義の「通信定義」の設定内容が一部消えてしまうことがある。
- ・バージョンアップ後、「DEX Business Server Service」を起動すると、フォルダ管理のフォルダー一覧の内容が消えてしまうことがある。
- ・クライアント環境設定で、ディレクトリ構成にユーザファイルのないディレクトリしか定義されていないと、ダウンロード設定のマッピング操作でディレクトリ構成が選択できない。

### [API 機能関連]

- ・コマンドラインユーティリティの CATALOG の実行で、ファイルが登録されずエラーにもならないことがある。

## [その他]

以下の仮想環境での動作を確認しています。

### サーバ環境

仮想化システム	ゲスト OS	32 ビット	64 ビット
VMware ESXi 4.0	Windows Server 2003 Standard Edition SP2	○	—
	Windows Server 2003 Enterprise Edition SP2	○	—
	Windows Server 2003 R2 Standard Edition SP2	—	○
	Windows Server 2003 R2 Enterprise Edition SP2	—	○

○：確認済み   —：対象外

### クライアント環境

仮想化システム	ゲスト OS	32 ビット	64 ビット
VMware ESXi 4.0	Windows Vista Business	—	○
	Windows Vista Ultimate	—	○

○：確認済み   —：対象外

### <前提条件>

仮想環境で利用を計画する場合、次の条件をふまえて検討してください。

- ・仮想化システム、ゲスト OS の保守については、お客様の責任でそれぞれのメーカー様、ベンダー様とご契約ください。
- ・ゲスト OS は、ネットワークの接続も含め正常に動作している必要があります。
- ・ゲスト OS のリソースは、ゲスト OS の必要分の他に弊社製品の H/W 要件を満たす十分なリソースを割り当ててください。
- ・仮想環境に起因する不具合は対応できかねます。

弊社で確認した仮想化システムとゲスト OS のバージョンと違うバージョンを組み合わせた場合の動作については弊社営業にご相談ください。

以 上